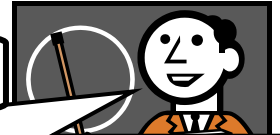




このお便りは、「キャリア教育」と「キャリア教育に関すること」について理解を深めるために作成しています。Q&A方式でお送りします。

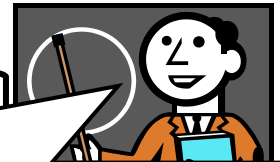
高校に行くとしたら、どのくらいお金がかかるの？



人が生きていく以上、お金がかかります。それは、高校進学も例外ではありません。県立高校と私立高校での違いはありますが、入学にかかる費用、毎月の授業料を知っておく必要があります。かかる金額の大小だけで進学先を決めるべきではありませんが、知っておくべき重要な事の1つです。



県立と私立で、何がどれくらい違うの？



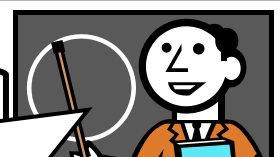
おおまかには、以下の表のようになっています。

	県立高校	私立高校
入学金 ※1	5,650 円	240,000 円～270,000 円
授業料 (月々) ※2	9,900 円	24,000 円前後
諸経費 (月々) ※3	1 万円前後	2 万円前後

- ※1 入学の際には、別途「制服・上履き・体育館シューズ・通学用靴など」の購入が必要です。
- ※2 授業料は、高等学校等就学支援金制度により、所得と校種に応じて減額される場合があります。
- ※3 諸経費には、「PTA会費・生徒会費・修学旅行積立金」などが含まれて計上されます。



県立の方が安いから、県立の方がいいの？



県立高校への進学の方が、経済的な負担が少ないことが間違いありません。しかし、私立高校では授業や部活動において設備が充実していることも事実です。宇都宮短期大学付属の調理科や音楽科、作新学院の自動車整備士養成コース、美術デザイン科など、そこでしか学べないこともあります。また、高校は「行きたい」と言えば入学できるわけではありません。家庭の経済状況や教育方針、通学にかかる時間と費用、高校側が求める学力と自分の学力などを考慮した上で、県立か私立かを含めて出願先を決める必要があります。大切なことはその高校で「何を学びたいか」「何をしたいか」について、よく考えることです。そのためには、高校卒業後のことについても、目を向けておく必要がありますね。『行ける高校に行く』ではなく『行きたい高校に行く』ための努力を、今のうちから始めておきましょう。

